

事務事業評価表(事業実施年度:令和N年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和N年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	
事務事業名	事務事業の名称を記載しています		担当課	担当係	
総合計画系	施策	総合計画での位置づけを記載しています		予算科目	会計科目
	取り組み方針			項目	
根拠法令条例等		根拠となる法令等を記載しています		個別計画	関係ある個別計画を記載しています
実施期間	<input type="checkbox"/> N年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	N-1年度	N年度	N+1年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象をどのような状態にしたいかを記載しています				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※N年度に行った主な活動	目的を達成するための具体的な町の取組を記載しています				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	N-1年度	N年度	N+1年度 (見込)	達成率
ア				目標			
				実績			
イ				目標			
				実績			
ウ				目標			
エ							
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		N-1年度 (決算値)	N年度 (当初予算)	N年度 (決算値)	N+1年度 (当初予算)	N+2年度 (計画)	N+3年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債						
受益者負担								
その他特定財源								
一般財源								
合計(A)			0	0	0	0	0	0
(内 会計年度任用職員人件費)								
正職員人件費[按分](B)								
トータルコスト(A)+(B)			0	0	0	0	0	0
関与職員数(単位:人)		正職員						

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
事務事業を取り巻く環境変化や関係者からの意見等を記載しています		

# 事務事業評価表(事業実施年度:令和N年度)

## 2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定																																					
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	総合計画を参照して、「事務事業の目的」が「施策の目指す姿」の実現に結びついているか、「事務事業の成果」が「施策の成果指標の向上」に貢献するかの評価を記載しています	項目の選択により0点から3点のうちで自動判定されます																																					
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の位置付けや町民ニーズ、法令等に対して、事務事業の目的で記載した「意図」が適切であるかの評価を記載しています																																						
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	当該事務事業を自治体(町)が主体となって取り組むべきことか、また併せて住民の参画余地があるか、その仕組みをつくっているかの評価を記載しています																																						
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	指標達成状況の成果指標を定量的な観点から、または定量的な観点のみでは説明が不十分場合は、議会・町民の反応などの定性的な観点から事務事業の成果の評価を記載しています																																						
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	「事務事業の目的」で記載した対象が、意図を達成する上で、最も有効か、対象の拡大や変更細分化などにより他の有効な対象がないかの評価を記載しています																																						
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	「事業内容」で記載した手段が、「事務事業の目的」で記載した意図を達成する上で、最も有効かの評価を記載しています																																						
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	業務手順、内容に見直しの余地はないかの評価を記載しています																																						
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	「総事業費の推移」で記載した事業費は適正か、削減の余地はないかの評価を記載しています																																						
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	「総事業費の推移」で記載した一般財源の負担を軽減する余地(受益者負担は適正か、国や県等の補助など)はないかの評価を記載しています																																						
分析・検証結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">妥当性</th> </tr> <tr> <th>0点</th> <th>1点</th> <th>2点</th> <th>3点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">有効性・効率性</td> <td>いずれか0点</td> <td>d</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>いずれか1点</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>合計4点</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>合計5点</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>b</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>合計6点</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>				妥当性				0点	1点	2点	3点	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	いずれか1点	c	c	c	c	合計4点	c	c	b	b	合計5点	c	b	b	a	合計6点	c	b	a	a	分析・検証結果に対する総括(N年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
					妥当性																																				
			0点	1点	2点	3点																																			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c																																			
		いずれか1点	c	c	c	c																																			
		合計4点	c	c	b	b																																			
合計5点		c	b	b	a																																				
合計6点		c	b	a	a																																				
妥当性・有効性・効率性の評価結果をもとに総合評価を記載しています		妥当性・有効性・効率性の評価結果やその判断理由を踏まえ、課題点とその対応策など実施年度の振り返り総括を記載しています																																							

## 3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとにN+2年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	判定結果により、「成果の方向性」の具体的な内容を記載しています 成果の方向性が維持となる場合等は、記載がありません
		拡大 維持 縮小 休廃止	C	B	A	
			E	D		
			F			
			G			
分析・検証結果をもとに翌々年度(次期予算編成)の対応方針を記載しています		コストの方向性(一般財源・関与職員数)				判定結果により、「コストの方向性」の具体的な内容を記載しています コストの方向性が維持となる場合等は、記載がありません